

鹿児島大学数理情報科学談話会

第220回

日時：2016年12月23日（金）16:30 - 17:30

場所：理学部2号館404室

講師：榎園 誠氏（大阪大学）

題目：ファイバー曲面のスロープ上限について

Abstract:

非特異複素射影曲面からコンパクトリーマン面への全射正則写像で一般ファイバーが連結であるものをファイバー曲面と呼ぶ。

ファイバー曲面 f の重要な二つの不変量 K_f^2 と χ_f の比をスロープという。スロープの存在範囲は一般型代数曲面の不変量の地誌学と密接な関係がある。スロープの上限は12であり、上限の12を満たすファイバー曲面は正則ファイバー束ではないが、位相的には局所自明である。しかし一般ファイバーを超楕円曲線に制限するとスロープの上限は12より小さいことが知られている。本講演では他のクラスのファイバー曲面に対しスロープの上限を考え、いくつかの結果、特に一般ファイバーが双楕円曲線（楕円曲線の二重被覆である曲線）の場合のスロープの上限について話したい。

お問合せ：談話会委員 田中 恵理子 (✉ erico@sci.kagoshima-u.ac.jp ☎ 099-285-8988)